

2020 年度岡山県社会福祉士会事業報告

岡山県社会福祉士会は、公益社団法人の認定を受けて2年が経過しました。

本年度は、これまで実施継続してきた各委員会の事業、県からの委託事業等に加え、事業計画でお示しした通り、2つの大きなプロジェクトを遂行しました。まず1つ目は本会の中期計画「ももちゃんプラン2025」の策定です。『ソーシャルワークで岡山を幸せに』をビジョンに掲げ、優先課題を抽出し、今後5年間の行動計画をまとめました。2つ目は「社会福祉士の活用促進」です。行政機関の各種委員や研修講師等に社会福祉士を積極的に活用していただけるよう、パンフレットを作成して啓発を図るとともに、推薦の仕組みを作りました。これらは本会にとって大きな前進であり、今後の発展に繋がる礎となることを確信しています。

一方で、昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大により、研修会や会議等が実施できなくなり、事業内容の大幅な見直し、オンラインシステム機器の整備と活用、ガイドラインやBCPの作成、新しい生活様式への対応等に追われた1年でもありました。研修会の中止など、会員の皆様には多大なご不便をおかけしましたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

しかしながら、この機会に新たに取り組むことのできた事業も複数ありました。

この度のコロナ禍という未曾有の事態により、社会全体が不安に襲われるなか、本会として何か県民の為に行動しようとの掛け声により、新型コロナウイルス対策プロジェクトチームを立ち上げ、専用電話による無料福祉相談を開設しました。また他団体と協働し、「コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守るなんでも相談会」にも参画し、現在も継続参加しています。

その他にも、県からの新規受託事業として「防災・福祉対応力向上研修」の開催、「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」の策定をはじめ、地区会支援委員会では「オンライン交流会」により、精神保健福祉士の方々や福祉学科の大学生らとの交流が行われたほか、エフエムつやまでの番組放送にも挑戦しました。ばあとなあ岡山や、第三者評価委員会では、県内の各機関への委員派遣、県外や国への講師派遣も行い、社会福祉士の地位向上に寄与しました。また、子ども家庭福祉委員会は、本会で初めて、オリジナルの認証研修「少年非行の自立支援に向けたソーシャルワーク研修」を企画実施し、障害者権利擁護センターでは「あいサポート運動」を啓発するため、本会初の本格的な動画作成にも取り組みました。

これら多くの事業を行うなかで、事務員をはじめ、一部の役員や会員への多大な負担が掛っていることも課題となっています。ももちゃんプラン2025を本気で実行していく為には、会員の皆様のさらなるご協力が不可欠です。社会福祉士としての誇りを胸に、共に考え、共に行動してまいりましょう。